

第1期中期目標期間の業務実績に関する評価結果(案) (変更箇所比較表)

第3回 評価委員会 (7月30日～8月5日) 案	第2回 評価委員会 (7月25日) 素案	備考
(P.3) 第2 全体評価 (1) 評価結果と判断理由 また、大阪公立大学工業高等専門学校においては、<u>これまで高度な実践的技術者を育成・輩出し、大阪の成長・発展に資する人材の育成に取り組んできた。引き続き、社会情勢の変化に伴う産業界から求められる人材像の変化に対応するため、令和4年度からのカリキュラム改革等に着実に取り組んでいる。今後、中百舌鳥キャンパスへの移転を見据え、策定した学舎整備計画や大阪公立大学との共用施設の配置計画等を着実に実施し、よりよい修学環境の整備に取り組まれることを期待する。</u> (P.7) (2) 中期目標期間の業務実績に関して特筆すべき取組 評価にあたっての意見、指摘等 (各計画項目に係る意見) ・<u>大阪公立大学工業高等専門学校においては、学校紹介コンテンツのデジタル化やオンライン広報の拡充に取り組むとともに、女性エンジニア養成枠の設置を含めた入試改革を進めており、令和10年度入学者選抜から実施することとしている。今後、中百舌鳥キャンパスへの移転を契機として、大阪公立大学との連携を一層強化し、より高度な専門技術者教育を実施することにより、次世代を担う人材を育成されることを期待する。(高等専門学校 項目31)</u>	(P.3) 第2 全体評価 (1) 評価結果と判断理由 また、大阪公立大学工業高等専門学校においては、<u>社会から求められるDX教育に着実に取り組むなど、社会の変化や要請に応えるとともに、大阪の成長・発展に資する人材の育成に取り組んできた。今後、大阪公立大学とのさらなる連携強化に取り組まれることを期待する。</u> (P.7) (2) 中期目標期間の業務実績に関して特筆すべき取組 評価にあたっての意見、指摘等 (各計画項目に係る意見) (記載なし)	

※その他、8ページ以降の【中期目標期間の業務実績】の表記、誤字・脱字や微細な修正は、事務局にて対応済み。